

平成 28 年度 国語科授業風景

2年生では、短歌大会を行っています。短歌創作のために、駿府城公園に材料を探しに行き、表現したい思いにまつわるストーリーを生み出し、そこから短歌を創作しました。その際、先人の短歌の表現技法を参考にしたり、仲間と交流したりしながら創りあげました。

短歌大会は4人1組のチームで対戦していきます。クラスの仲間が何を伝えたくて、そのためにどんな工夫を凝らしたのかを共有しました。今後、言葉を大切にしながら、相手が何を伝えようとしているのか、また、自分の思いをどうすれば伝えられるのかを考えていきたいです。 鈴木 康弘



2年生：『平家物語』の魅力子どもたちとともに追求しました。『ビギナーズクラシックス平家物語』を活用することで、作品全体を大まかにとらえることと、根底に流れる無常観を確認しました。その際、各場面における情景描写の繊細さや心情表現の豊かさを味わった子どもたちから、「(作品がこれほど詳細に表現されているにもかかわらず)なぜ、作者や成立年が不明なのか」の問いが生まれました。子どもたちと追求する中で、琵琶法師の語りにより継承されたことや王位継承における三種の神器の問題などが話題となり、「作者は複数であり、成立時期も定めにくい」との答えを導くこととなりました。 池田 昌史



3年生では『和歌の世界』を味わうために、三大和歌集（万葉集・古今集・古今和歌集）の有名な和歌を鑑賞し合い、先人たちは言葉に想いをのせて和歌を贈り合っていたことを理解しました。

その後、相聞歌に注目して、恋の和歌を断るための和歌を創作する活動を行いました。その際、断る和歌のコンセプトを大まかに考えたり、その状況をイメージしたりしました。 梶山 哲耶



